

1 研究主題と主題設定の理由

1 学校教育目標から

豊かな心と確かな学力  
をもち、たくましく  
生きる児童の育成

- ・ 知・徳・体の3つのバランスを考えた人格の育成の観点ともとらえられ、学習規律や考える力との関わりも深い。
- ・ 本研究主題の達成が、学校教育目標の実現の基盤となる。

4 児童の実態から

- ・ 自主性、根気強さ、自己表現力がやや不十分な面はあるが、明るく活発で覚えることや計算は得意である。
- ・ 素直でのびのびしており、全体的には落ち着いている。
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得については、全体としては一定の成果が認められる。
- ・ 思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式の問題に課題がある。

自ら考え判断する力、自らの考えを的確に表現する力がやや不十分。

学び方・学ぶ習慣は身に付いているとはいえないが、分かりたい、できるようになりたいという強い思いを持っている。

研究主題

基礎・基本を身に付け、  
考える力をはぐくむ学習指導の工夫

2 社会の情勢・動向、要請などから

- ・ 少子化、核家族化、都市化の進行の時代。
- ・ ライフスタイルの変容を背景に、家庭や地域の教育力が低下する。
- ・ 生活習慣の確立が不十分、親や教師以外の地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流の場や自然体験の減少
- ・ 人間関係の希薄化

3 これからの学校教育の在り方から

- ・ 改正教育基本法、学校教育法の一部改訂
- ・ 学習指導要領改訂6つのポイント

基本方向の6点

「生きる力」という理念の共有  
基礎的・基本的な知識・技能の習得  
思考力・判断力・表現力等の育成  
確かな学力を確立するために必要な時間の確保  
学習意欲の向上や学習習慣の確立  
豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実

5 地域の実態などから

- ・ 昭和40年代、学区内の宅地化に伴い、人口が増加。
- ・ 本校に深い愛情と誇りをもった地域の方々。
- ・ 活発な自治会、子ども会、PTA活動、学校に協力的な保護者

## 2 本校の研究の基本的な考え方

(1) 研究主題のおさえ方(前提として)

「基礎・基本」とは

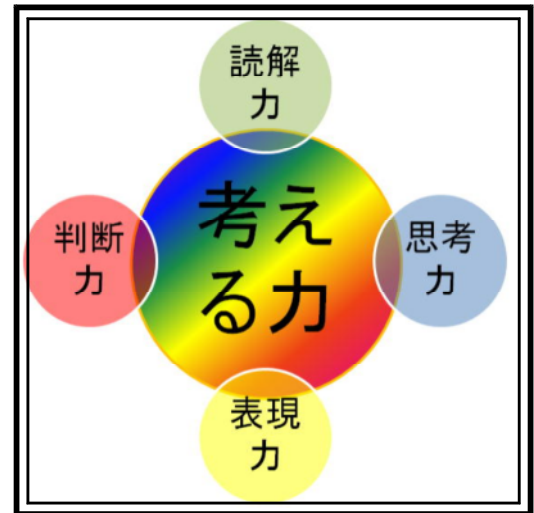
「学習指導要領のすべての内容」というとらえ方  
 保護者向けの「読み・書き・計算」というとらえ方  
 「今後の学習を進めていく上で、身に付けさせたい学習内容や知識、技能、資質(相対的なものも含めて)」  
 というとらえ方

本研究では、 のとらえ方をもとに研究を進めていく。

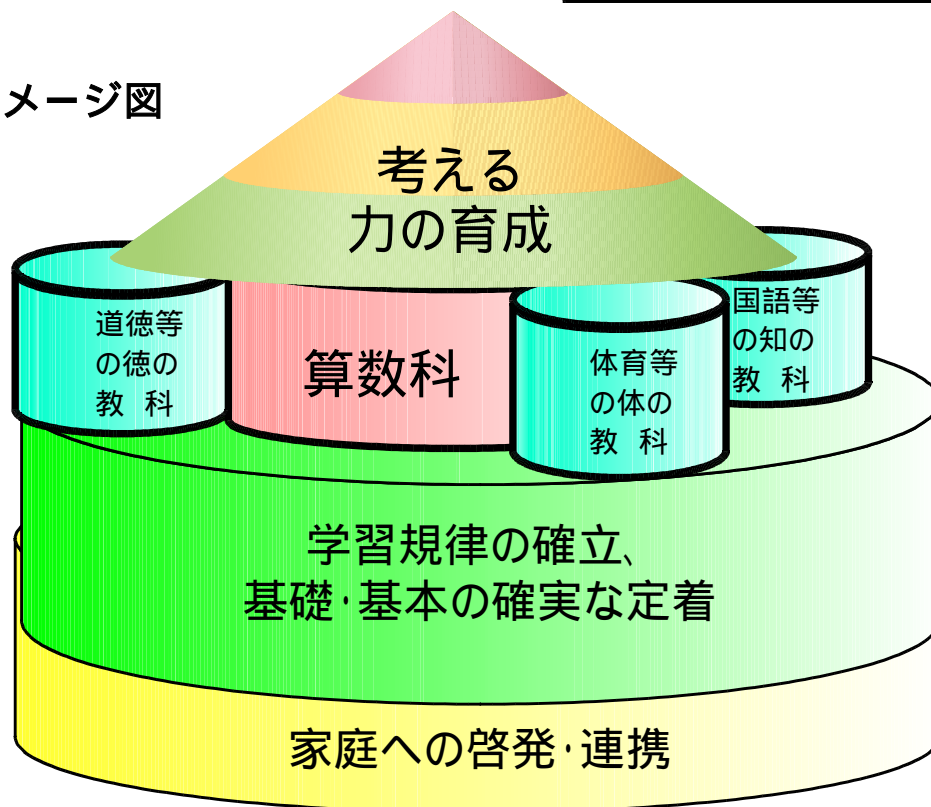
基礎的・基本的な学習内容や学習規律が身に付いて、考える力を育成できるととらえていく。

「考える力」とは

・学習指導要領で重要視されている  
 「思考力」「判断力」「表現力」「読解力」  
 等ととらえていく。



### 研究のイメージ図



学習内容が分かり、理解できてこそ学ぶ楽しさのある授業が成立し、学力の向上へとつながっていく。

本校の児童の実態を考えた場合、学習習慣の確立や考える力を問う記述式の問題に課題がある。

そこで、今年度は、算数科を中心に、学び方等の学習習慣の確立を通して、基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させ、他教科へと広げていく。そして、2年間の研究を通して、考える力を育成していきたい。

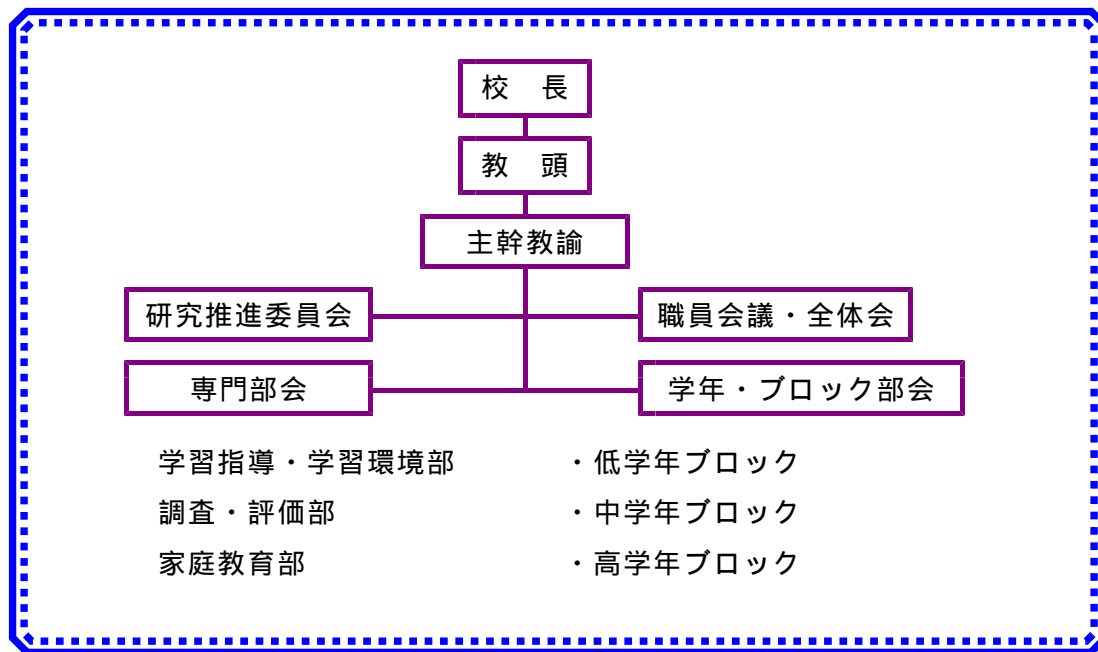
(2) 研究の具体的内容

算数科における基礎・基本や考える力を育てる指導方について理論研修を行うとともに、一人1公開授業を通して、指導技術の向上に努める。

確かな言語能力・国語力を身につけるための日常的な国語教育に取り組む。

- ・教室内に算数コーナーの掲示、算数にふれる場づくり
- ・習った計算ができる 学習した漢字が書ける 読める...計算小テスト・漢字小テスト

3 研究組織・専門部



研究推進委員会	研究全般の計画立案と推進 研究授業と研究会の持ち方 家庭教育だより「学力アップ(仮称)」の発行 等
全体会	研究内容の共通理解、学校研究課題全般に対する研修 教材研究、研究授業と研究会の実施 等
学年・ブロック部会	各学年・ブロックにおける目指す児童像の検討 学習プリントの作成(授業用・家庭学習用) 学習指導案の検討・作成
学習指導・ 学習環境部	算数の学び方、発表の仕方等の掲示資料作成 算数科の学習環境の整備(教材教具・啓発看板・資料作り) 指導案形式の検討 等 レディネス問題の作成、印刷
調査・評価部	児童へのアンケート追跡調査及び集計・考察 朝自習時における計算力テストの作成、90%到達度調査 評価テストの作成、印刷
家庭学習部	家庭学習カードの作成 家庭のまなびのすすめ等の啓発活動 算数コーナー資料の作成 家庭教育だより「学力アップ(仮称)」の記事収集、発行補助

#### 4 今年度の研究予定

	全体研修 (研究推進委員会)	専 門 部			学年・ブロック 部会	各学級
		学習指導部	調査評価部	家庭学習部		
4月	研究の方向の確認	レディネス問題 作成【通年】	計算力テスト 評価テスト作 成【通年】	算数コーナー 作成【通年】	学習プリント 作成【通年】	【朝・帰りの会】 1分間スピーチ 三行日記 【家庭学習】 読書 10000 ページ 計算繰り返しドリル  指導者を招聘し ての研究授業は 各学年1本  授業者 1年 ( ) 2年 ( ) 3年 ( ) 4年 ( ) 5年 ( ) 6年 ( )
5月	本校で目指す読解 力 研究組織作成 児童の実態把握	学習の仕方の 基本、ノート の使い方 (全校で統一し たいもの)			ブロック別の 「目指す児童 像」決定	
6月	家庭学習だより発 行 第1号	算数科で身に 付けたい力の 洗い出し	児童の実態 把握アンケ ート第1回 実施	家庭学習カー ド(仮称)を 作成	「目指す児童 像」決定 指導案検討会 4年	
7月	【第1回研究授業】 4年 家庭学習だより発 行 第2号			家庭のまなび 作成		
8月	夏季休業中の課題 相談日	学習環境の整 備資料作成	アンケート 第1回調査 分析	家庭学習だよ り記事収集		
9月	研究の進捗状況、 理論研究の見直し 学習環境の整備					
10月	【第2回研究授業】 2年 【第3回研究授業】 3年	指導案検討会				
11月	【第4回研究授業】 1年 家庭学習だより発 行 第3号					
12月						
1月	【第5回研究授業】 6年 研究冊子作成	指導案検討会	児童の実態 把握アンケ ート第2回			
2月	【第6回研究授業】 5年 研究冊子作成					
3月	家庭学習だより発 行 第4号					